



ほっとたいむ

12月4日～10日は人権週間です

1948年12月10日の国連総会で『世界人権宣言』が採択され、国連はこれを記念して、12月10日を『人権デー』としています。あいち人権情報の第29号は、人権週間についてのいろいろな情報でした。そこに上がっていた内容を少し紹介しますね。

「みんなちがっていい。80億の人権ピース。」

それぞれが違いを認め合うことができれば、人権が尊重される
素敵な未来につながるというメッセージを子どもたちへ

『あいち人権情報』第29号より

- ・外国人の人権について
- ・合理的配慮の提供が義務化
- ・愛知県ファミリーシップ宣誓制度の開始
- ・ハンセン病問題を考える
- ・ホームレスの方への理解
- ・ヤングケアラーについて
- ・里親制度について
- ・身近な人、大切な人を自死で亡くされた方へわたしたちができること
- ・あいち多文化共生月間について
- ・犯罪被害者等支援について
- ・オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンについて
- ・世界エイズデーについて（レッドリボン）
- ・北朝鮮による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ・あいち人権センターを活用しよう
- ・性被害・性暴力の相談窓口
- ・いじめ・不登校・虐待・非行問題の相談窓口



夢や理想が語れる子どもにするために

八幡小学校では、毎年４年生になると、外部講師による『ドリームマップ』という夢を描く授業があります。子どもたちは、そこで１０年後の未来の自分をイメージし、どうなりたいか、どうなっていたら最高かという自分の未来に対する夢や理想を考えて、１枚の紙に写真や言葉を添えながら、ドリームマップを仕上げていきます。

でも・・・自分の夢や理想を思い描くことが難しい子も中にはいます。自分の現状から、未来へイメージ（想像力）を膨らませることが難しい子たちです。

本来なら可能性しかない子どもたちです。何だってできるし、何にだってなれるはず・・・なのに、「できない」「どうせ」という考えをもってしまっている子は、夢を語ることを「恥ずかしい」と思ったり、そもそも思い描けなかったりします。

未来を生きる子どもたちには、やはり夢や理想を語ってほしい。「そんなの無理でしょ～」って大人が思うくらいの大きな夢や理想を語れる方が、子どもの心は健康だと思うからです。

もし、夢や理想が語れる子どもにしたいなら、私たち大人が夢を語る姿を見せることが大切だと思っています。大人が率先して夢や理想を語っていれば、子どもたちも自然に夢や理想を語れるようになると信じています。

通級の時間には、「お話タイム」という時間がありますが、私はいつもそこで等身大の自分で子どもと関わるようにしています。大人だって勉強する、大人だって夢を語る、大人だって失敗もする、大人だって新しいことに挑戦する、そんな姿を少しでも感じてくれたら・・・そう思いながら、いろいろな話をしています。

ぜひ、ご家庭でもお家の人の夢や理想を聞かせてあげて欲しいと思います。

それこそ、「みんなちがっていい。８０億の人権ピース。」の精神で、子どもに夢を見せることができる世の中を作っていきたいですね。

ホノルルマラソンに挑戦してきます!!

私事ですが、１２月８日に開催されるホノルルマラソンに挑戦してきます。５年前に名古屋ウイメンズマラソンに挑戦して以来のフルマラソンです。実は・・・自信は全くありません。しかし、ホノルルに行くことともう一度フルマラソンを走る夢にワクワクしたので、(笑)挑戦してきます。そのため、１２月９日～１１日の３日間お休みをいただきます。帰ってきたら、夢にチャレンジした大人として、また話をしていこうと思いますので、ご理解いただけたら幸いです。

なお、この件もありまして、懇談会の日程調整等にもご協力いただきましたこと、大変ありがとうございました。引き続きよろしくお願いします。